

一般向け 今川図書館だより

いまがわーるど

2016年6月号

今月のテーマ

「移りかわる季節」



今月の特集「移りかわる季節」

6月に入りました。今月は春から夏へと向かう一歩手前、梅雨の時期がめぐってきますね。今回はそうした移りかわる季節をテーマにした作品を取り上げてみました。

『罪と罰』

ドストエフスキイ 著 2008年 光文社 **BRト**

夏に展開するストーリー。舞台は19世紀、旧ロシア帝国の首都ペテルブルグ。ドラマの伏線として、町の背景が詳細に描かれている。夏の息苦しさが、じっとりと伝わってくるような作品。

『雪国』

川端康成 著 1952年 岩波書店 **BGカ**

日本の季節感を美しい言葉で表現された作品。特に、晚秋から冬に向かう雪国の季節の移り変わり、雪深い舞台の描写は、その情景が目前に浮かぶ。

『失敗しない！必ず実がなる 果樹の育て方』

小林隆行 著 2012年 日本文芸社 **625コ**

どんな果樹を、どの季節に栽培すればよいか。写真やスケジュール表で分かりやすく解説している。これからガーデニングを楽しみたい方に、おススメの一冊。

『暮らしをもっと豊かにする七十二候の楽しみ』

小泉さよ 絵 2013年 世界文化社 **449コ**

自然が生み出す小さな変化を感じ、季節を愛でる感性と節目を大切にしてきた日本人。七十二候をもとに、自然、旬の食べ物、行事をやさしいイラストで紹介。6月には自家製梅酒のつくりかた、じめじめした季節にピッタリな割り箸炭作りなど、それぞれの季節の暮らしの楽しみを紹介した「おうち歳時記」もおすすめ。

『青木和子の刺しゅうダイアリー

四季を彩る草花とステッチ』

青木和子 著 2013年 日本ヴォーグ社 **594.2ア**

自身の小さな庭に季節ごとに咲く草花を愛で、そこにやってくる虫や鳥も、布のキャンバスに刺しゅうで表現したガーデンダイアリー。図案や刺しかたの解説付き。布キャンバスに季節の草花を植えてみませんか。

『オツな日本語 日本人が大切に伝えてきた言葉と心』

金田一秀穂 著 2012年 日本文芸社 **810キ**

一年の間に季節の変化が千差万別する日本。国語学者の著者が解説する、四季をめぐることばを通して、感性豊かな日本人の心を探ってみませんか。

YAにおすすめ！

中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します

『真夏のレシピ ひんやり冷たいヌードル&デザート』

2007年 アップオン **596ア**

夏バテやぐったりしたからだにおススメの「クールな晩ごはんレシピ」を多数紹介。カラフルに彩られた各ページは、眺めているだけでも楽しくなる。併載のクールデザートもおいしそうなものがずらり。

『京都祇園祭』

中田昭 著 2011年 京都新聞出版センター **386ナ**

夏の京都の風物詩である「祇園祭」。暑さのなかに響き渡る様々な楽器の調べは、一服の清涼感のよう。そんな祭りの概要が、多くの写真と共に紹介されている。

『つるにようぼう』

矢川澄子 再話 赤羽未吉 画 1979年 福音館書店 **ED(児童)**

「トンカラカン、トンカラカン、ギー」しんしんと降り積もる雪のなか、にようぼうが布を織る情景は、とても静かな雪の季節を思いださせてくれる。赤羽未吉の絵のタッチが絶妙な作品。

『季節のうた』

佐藤雅子 著 2014年 河出書房新社 **BGサ**

同時代を生きた人々をはじめ、多くの料理研究家やテーブルコーディネーターの「憧れの人」だった故人の54篇を収めた復刊。丁寧で豊かな暮らし、季節の移ろいにあわせた料理、創意工夫を紹介。

『旅の絵本』

安野光雅 著 1986年 福音館書店 **EC(YAコーナー)**

文章のない、風景画のみが展開する作品。写真とは異なるやさしいタッチのこの絵本は、ページをめくるだけで異国を旅しているかのよう。また、それぞれの絵を眺めているだけでも、ホッコリと心地よい。

『新13歳のハローワーク』

村上龍 著 2010年 幻冬舎 **366.2ム (YAコーナー)**

13歳は大人の世界の入り口。そう考える著者が、読者の好奇心にあわせた数百の仕事を、独自の切り口から紹介。やりたいと思える仕事が探し出せるかも。

新着本コーナー

最近今川図書館に入った本から、お勧めの本を紹介します。
(新着コーナーにあるものもあります)

『桜の樹木学』

近田文弘 著 2016年 技術評論社 479コ

日本人の心を魅了してやまない桜。そんな桜を植物分類学の専門家が学術的に解説。樹木の一生を語る。また、桜の利用法も紹介。桜の側から見た世界が見えてくる一冊。

『日本のカエル 分類と生活史』

松井正文 著 2016年 誠文堂新光社 487マ

かえる。カエル。蛙！！豊富な写真に半ば圧倒される蛙のオンパレードは、見ているだけでもゾクゾクしてしまう内容だ。一方で、詳細データも見逃せない。マニアにはたまらない一冊。

『子育てが楽になる心理学』

母親が「一人で抱え込まない」ための工夫とヒント』

山口まみ 著 2016年 三笠書房 599ヤ

「幸せになってほしい」「いい親でありたい」と願いながら、つい感情的にしかってしまうなど、思うようにいかないことが多い子育て。心理学的見地と実際の子育ての視点から、まずは自身の心の安定をアドバイスしている。

『世界の不思議な図書館』

アレックス・ジョンソン 著 2016年 創元社 010シ

世界には意外な場所に図書館があった！マドリードにある地下鉄図書館、モンゴルにはラクダの図書館！？電話ボックス、ポート、駅、ホテル、個人宅、庭、公園、海辺などなど。大小さまざまな場所にあるバラエティあふれる全89館を紹介。

展示のお知らせ

～バラを慈しむ～

今川図書館では、先月アンネのバラを駐輪場の花壇に植樹しました。まだ小さいですが、可愛らしい花が咲いています。

愛と平和のシンボルと呼ばれるアンネのバラ。今回は「バラを慈しむ」と題してバラに関する本を展示します。

期間：6～8月

場所：1階入口脇



6月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				おはなし会		
5	6	7	8	9	10	11
	休館日			おはなし会		
12	13	14	15	16	17	18
	おはなし会		工作会& おはなし会	休館日		
19	20	21	22	23	24	25
	おはなし会			おはなし会		
26	27	28	29	30		
	おはなし会	赤ちゃん おはなし会				
開館時間 月～土9時～21時						
○の日(日曜・祝日・年末)は9時～17時						
休館日 第1月曜日・第3木曜日						

おはなし会については児童向け図書館だよりをご覧ください

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431